



表 4.1-1 (2) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 島根県 調査海岸の奥行き(平均): 30 m  
 実施者: 復健調査設計株式会社 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他( )  
 調査海岸: 島根県松江市鹿島町 古浦海水浴場 調査地点 中心点: N 35.51728124 E 132.97308  
 調査実施日: 2024 年 12 月 17 日 ~   月   日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 回収開始時刻: 10 時 0 分 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 回収終了時刻: 13 時 0 分 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 回収作業人数: 4 人 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( ))  
 奥行き方向の回収範囲:  全範囲  一部範囲 ( m)  
 河口付近:  島根地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	123	0.615	0.248	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	108	54,000	4.275
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	63	20,300	3.196
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	39	64,000	2.520
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	6	7,500	0.818
		ストロー	ストロー	8	0.010	0.006
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	22	0.828	0.065	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器				
		食品容器	28	12,420	0.484	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		36	7,313	0.753
		レジ袋		3	1,822	0.062
		その他プラスチック袋		32	27,945	0.618
		ライター	ライター	11	0.220	0.118
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	29	9,315	0.120	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片		1,828	0.049	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片		6,028	27,945	
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	26	15,525	2,349	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	256	31,050	1,885	
	アナゴ筋(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筋(フタ、筒)(漁具)	35	37,280	1,975	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	3	0.003	0.003	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	6	0.166	0.048	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	27	7,313	0.456	
		その他の漁具				
	釣具	釣りのルアー・浮き		8	0.166	0.054
		釣り糸		3	0.050	0.007
		その他の釣具		1	0.050	0.007
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)				
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	8	0.010	0.272	
	苗木ポット	苗木ポット	4	1,987	0.024	
	その他	花火				
		玩具				
プラスチック梱包材			1	0.100	0.005	
シリンジ、注射器						
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )						
その他						
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	5	0.828	0.013	
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	5	5,484	0.600	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		175,000	5,300	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	5	1,325	0.028	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
	その他		1	0.083	0.005	

※ 少なくとも「個数及び容量(L)または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 4.1-1 (3) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	12	12,420	1,205
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	3	2,153	0,319
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	7	3,430	1,888
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器	1	0,100	0,063
		コップ、食器			
		籠球	1	0,150	0,031
		蛍光管			
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
その他					
金属	金属	ピンのふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶	3	1,150	0,157
		スチール製飲料用缶	1	0,400	0,055
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	3	1,600	0,282
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
その他					
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)	1	0,200	0,031
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
		天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
その他	3	1,325	0,087		
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	6	24,840	3,050
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	その他			
		電化製品、電子機器			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
自然物	自然物	その他			
		灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		140,000	32,600
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かさない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

言語表記等調査のデータシート

調査実施日：2025/2/17 調査地点：古浦海水浴場

ペットボトル

項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数
	49 or 45	日本	
	69	中国	
	880	韓国	
	471	台湾	
	46	ロシア	
	不明 (バーコード読取れず)	—	
	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		15
	中国・台湾 (漢字)		21
	韓国 (ハングル)		14
	ロシア (ロシア語)		5
	不明 (文字読取れず)	—	92
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		

ペットボトルのキャップ

項目	表記言語	個数
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	8
	中国・台湾 (漢字)	16
	韓国 (ハングル)	20
	ロシア (ロシア語)	9
	不明 (文字読取れず)	70
	(表記言語) 英語	
	(表記言語) フランス	
	(表記言語) 何語かわからず	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

漁業用の浮子 (プラ以外を含む。)

項目	表記言語	個数
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	5
	中国・台湾 (漢字)	1
	韓国 (ハングル)	
	ロシア (ロシア語)	
	不明 (文字読取れず)	25
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

表 4.1-1 (4) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

表 4.1-2 (1) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

漂着ごみ データシート①

都道府県名: 島根県

実施者: 復建調査設計株式会社

調査海岸: 島根県益田市高津8丁目 益田港海岸

調査実施日: 2024 年 12 月 9 日 ~ 月 日

回収開始時刻: 10 時 0 分

回収終了時刻: 13 時 0 分

回収作業人数: 4 人

調査海岸の奥行き(平均): 20 m

海岸基質: 砂浜 礫浜 磯浜 その他( )

調査地点 中心点: N 34.69187 E 131.810167

※小数点第5位まで記載(例:N 35.00000, E 135.00000)

清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施

台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内

重機の使用: 無 有 (バックホウ 台, ユニック 台 その他( ))

奥行き方向の回収範囲: 全範囲 一部範囲 ( m)

河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	個数	容量(L) ※1	重量(kg) ※1	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	12	0.331	0.034	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	7	4.500	0.431
		その他のプラボトル<1L	0	0.000	0.000
		飲料用(ペットボトル)≥1L	0	0.000	0.000
		その他のプラボトル類≥1L	0	0.000	0.000
		ストロー	2	0.025	0.003
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	0.025	0.003	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	8	1.325	0.140	
	ポリ袋(不透明、透明)	3	0.050	0.009	
	ライター	0	0.000	0.000	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0	0.000	0.000	
	シートや袋の破片			0.000	0.000
	硬質プラスチック破片			0.166	0.039
	ウレタン	0	0.000	0.000	0.000
	浮子(フイ)(漁具)	2	0.662	0.112	
	ロープ・ひも(漁具)	6	21.735	1.082	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	1	0.994	0.051	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0	0.000	0.000	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.000	0.000	
	漁網(漁具)	0	0.000	0.000	
	その他の漁具(漁具)	1	0.331	0.018	
	釣具	0	0.000	0.000	
	たばこ吸殻(フィルター)	1	0.001	0.001	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	4	0.050	0.010	
	苗木ポット	0	0.000	0.000	
	その他	0	0.000	0.000	
	(発泡スチロール)	コップ、食品容器	10	0.331	0.012
発泡スチロール製フロート、浮子(フイ)		0	0.000	0.000	
発泡スチロールの破片				4.896	0.097
発泡スチロール製包装材		0	0.000	0.000	
その他		0	0.000	0.000	
ゴム ※2	ゴム	0	0.000	0.000	
ガラス、陶器 ※2	ガラス、陶器	1	0.150	0.134	
金属 ※2	金属	0	0.000	0.000	
紙、ダンボール ※2	紙、ダンボール	0	0.000	0.000	
天然繊維、革	天然繊維、革	0	0.000	0.000	
木(木材等)	木(木材等)	0	0.000	0.000	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0.000	0.000	
自然物	自然物	0	936.000	59.000	
その他	その他	0	0.000	0.000	
人力で動かせない物	緯度: 経度: ごみの種類( )	0	0.000	0.000	

※1 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。  
 ※2 ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。

表 4.1-2 (2) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 島根県  
 調査海岸の奥行き(平均): 20 m  
 実施者: 復建調査設計株式会社  
 海岸基質:  砂浜  礫浜  礫浜  その他( )  
 調査海岸: 島根県益田市高津8丁目 益田港海岸  
 調査地点 中心点: N 34.69187 E 131.810167  
 調査実施日: 2024 年 12 月 9 日 ~ 月 日  
 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 回収開始時刻: 10 時 0 分  
 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 回収終了時刻: 13 時 0 分  
 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 回収作業人数: 4 人  
 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( ))  
 奥行き方向の回収範囲:  全範囲  一部範囲 ( m)  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	12	0.331	0.034	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	7	4.500	0.431
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L			
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L			
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L			
		ストロー	ストロー	2	0.025	0.003
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	0.025	0.003	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器				
	ポリ袋(不透明、透明)	食品容器	食品容器	8	1.325	0.140
		食品の容器包装	食品の容器包装	3	0.050	0.009
		レジ袋	レジ袋			
	ライター	ライター				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片		0.166	0.039	
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	2	0.662	0.112	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	6	21.735	1.062	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	1	0.994	0.051	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	かご漁具	1	0.331	0.018
その他の漁具		その他の漁具				
釣具	釣りのルアー・浮き					
	釣り糸					
	その他の釣具					
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	1	0.001	0.001		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	4	0.050	0.010		
苗木ポット	苗木ポット					
その他	花火	花火				
	玩具	玩具				
	プラスチック梱包材	プラスチック梱包材				
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )				
	その他	その他				
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	10	0.331	0.012	
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		4.896	0.097	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
	その他					

※ 少なくとも「個数及び容量(L)または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 4.1-2 (3) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)			
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	1	0,150	0,134
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		籠球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
金属	金属	ピン、ふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶			
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)			
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
		天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
その他					
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		936,000	59,000
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かさない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 4.1-2 (4) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

言語表記等調査のデータシート

調査実施日: 2024/12/9 調査地点: 益田港海岸

ペットボトル				ペットボトルのキャップ				漁業用の浮子 (ブラ以外を含む。)			
項目	バーコード認識/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数		
	49 or 45	日本			日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	11		日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)			
	69	中国			中国・台湾 (漢字)			中国・台湾 (漢字)			
	880	韓国			韓国 (ハングル)	1		韓国 (ハングル)			
	471	台湾			ロシア (ロシア語)			ロシア (ロシア語)			
	46	ロシア			不明 (文字読取れず)			不明 (文字読取れず)	2		
	不明 (バーコード読取れず)	—			(表記言語) 英語			(表記言語) _____			
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) フランス			(表記言語) _____			
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) 何語かわからず			(表記言語) _____			
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		5		(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	中国・台湾 (漢字)		1		(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	韓国 (ハングル)		1		(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	ロシア (ロシア語)				(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	不明 (文字読取れず)	—			(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	(表記言語) _____				(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	(表記言語) _____				(表記言語) _____			(表記言語) _____			
	(表記言語) _____				(表記言語) _____			(表記言語) _____			





表 4.1-3 (2) 環境省提出データの詳細 (白海土海岸)

漂着ごみ データシート②

都道府県名:                      島根県

調査海岸の奥行き(平均):                      20 m

実施者:                      復建調査設計株式会社

海岸基質:  砂浜  礫浜  礫浜  その他(                      )

調査海岸:                      島根県隠岐郡知夫村 白海土海岸

調査地点 中心点: N                      36.004409 E                      133.016421

調査実施日: 2024 年 12 月 11 日 ~                      月                      日

※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)

回収開始時刻:                      7 時                      0 分

清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施

回収終了時刻:                      10 時                      30 分

台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内

回収作業人数:                      4 人

重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他(                      ))

奥行き方向の回収範囲  全範囲  一部範囲 (                      m)

河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	7	0,040	0,028	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	37	17,800	3,194
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	5	0,600	0,102
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L			
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	2	2,000	0,294
		ストロー	ストロー			
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	2	0,100	0,010	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品容器	食品容器	1	0,020	0,011
		食品の容器包装	食品の容器包装			
		レジ袋	レジ袋			
	ライター	ライター	ライター			
		その他プラスチック袋	その他プラスチック袋			
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片			3,427	0,402
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	37	4,896	1,029	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	17	40,365	3,317	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	かご漁具			
		その他の漁具	その他の漁具	1	0,497	0,088
	釣具	釣りのルアー・浮き	釣りのルアー・浮き	1	0,010	0,003
たばこ吸殻(フィルター)	釣り糸	釣り糸				
	その他の釣具	その他の釣具				
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)					
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	2	0,828	0,090		
苗木ポット	苗木ポット					
その他	花火	花火				
	玩具	玩具				
	プラスチック梱包材	プラスチック梱包材				
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )				
	その他	その他				
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)				
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フroot、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フroot・浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		0,331	0,011	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材					
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
	その他					

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 4.1-3 (3) 環境省提出データの詳細 (白海土海岸)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール	2	0.331	0.173
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	3	2.318	0.361
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	その他	1	1.050	0.333
		建築資材			
		食品容器	2	0.300	0.260
		ガラス、陶器の破片		0.151	0.047
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		籠球			
		蛍光管			
金属	金属	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
		ビンのみ、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶	6	2.200	0.562
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	8	1.159	0.190
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ボット )	1	4.406	0.787
		その他			
		紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
		天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	1			0.151	0.013
その他					
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	1	0.662	0.163
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		48,000	1,500
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かさない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 4.1-3 (4) 環境省提出データの詳細 (白海士海岸)

言語表記等調査のデータシート

調査実施日: 2024/12/11 調査地点: 白海士海岸

項目	バーコード認識/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数
	49 or 45	日本	
	69	中国	
	880	韓国	
	471	台湾	
	46	ロシア	
	不明 (バーコード読取れず)	—	
	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		5
	中国・台湾 (漢字)		14
	韓国 (ハングル)		1
	ロシア (ロシア語)		
	不明 (文字読取れず)	—	17
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		

項目	表記言語	個数
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	1
	中国・台湾 (漢字)	2
	韓国 (ハングル)	
	ロシア (ロシア語)	
	不明 (文字読取れず)	4
	(表記言語) 英語	
	(表記言語) フランス	
	(表記言語) 何語かわからず	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

項目	表記言語	個数
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	24
	中国・台湾 (漢字)	
	韓国 (ハングル)	
	ロシア (ロシア語)	
	不明 (文字読取れず)	13
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	
	(表記言語) _____	

#### 4.1.2 漂着ごみの組成比

##### (1) 人工物と自然物の組成比

本調査における人工物と自然物の漂着ごみの組成比は、表 4.1-4 及び図 4.1-1 に示すとおりである。

これによれば、重量及び容量については、古浦海水浴場及び白海士海岸では人工物の方が自然物よりも多かったが、益田港海岸については自然物の方が人工物よりも多かった。個数については灌木は未計測であるため、全地点で人工物しか計測出来なかった。

表 4.1-4 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	61.5	538.3	943	2.2	35.6	59	11.5	83.6	137
自然物	32.6	140.0		59.0	936.0		1.5	48.0	
合計	94.1	678.3	943	61.2	971.6	59	13.0	131.6	137

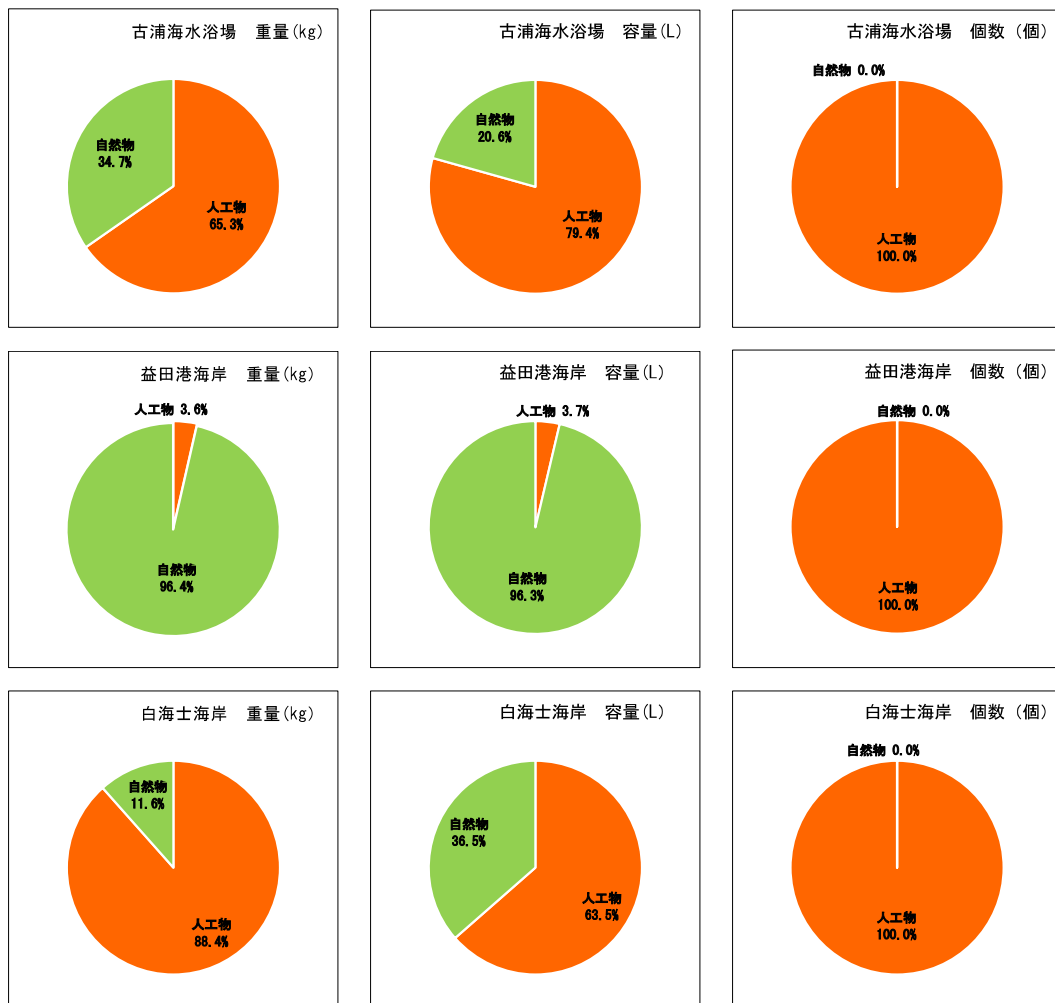


図 4.1-1 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

## (2) 人工物の大分類別組成比

本調査における人工物の大分類別組成比は、表 4.1-5 及び図 4.1-2 に示すとおりである。これによれば、本調査における人工物のうち「プラスチック、発泡スチロール類」の割合が高く、重量では、74.8～93.8%、容積では、84.8～99.6%、個数では、81.8～98.3%であった。なお、白海士海岸で収集した電化製品は懐中電灯であった。

表 4.1-5 人工物の大分類別組成比

地点 項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック、発泡スチロール類	54.3	490.5	902	2.0	35.4	58	8.6	70.9	112
ゴム	1.5	14.6	15	0.0	0.0	0	0.9	3.7	6
ガラス・陶器	2.0	3.7	9	0.1	0.2	1	0.3	0.5	2
金属	0.5	3.2	7	0.0	0.0	0	1.5	7.8	15
紙・段ボール	0.0	0.2	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
天然繊維、革	0.1	1.3	3	0.0	0.0	0	0.0	0.2	1
木・木材系	3.1	24.8	6	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
電化製品・電気機器	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.2	0.7	1
その他	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
人工物合計	61.5	538.3	943	2.2	35.6	59	11.5	83.6	137

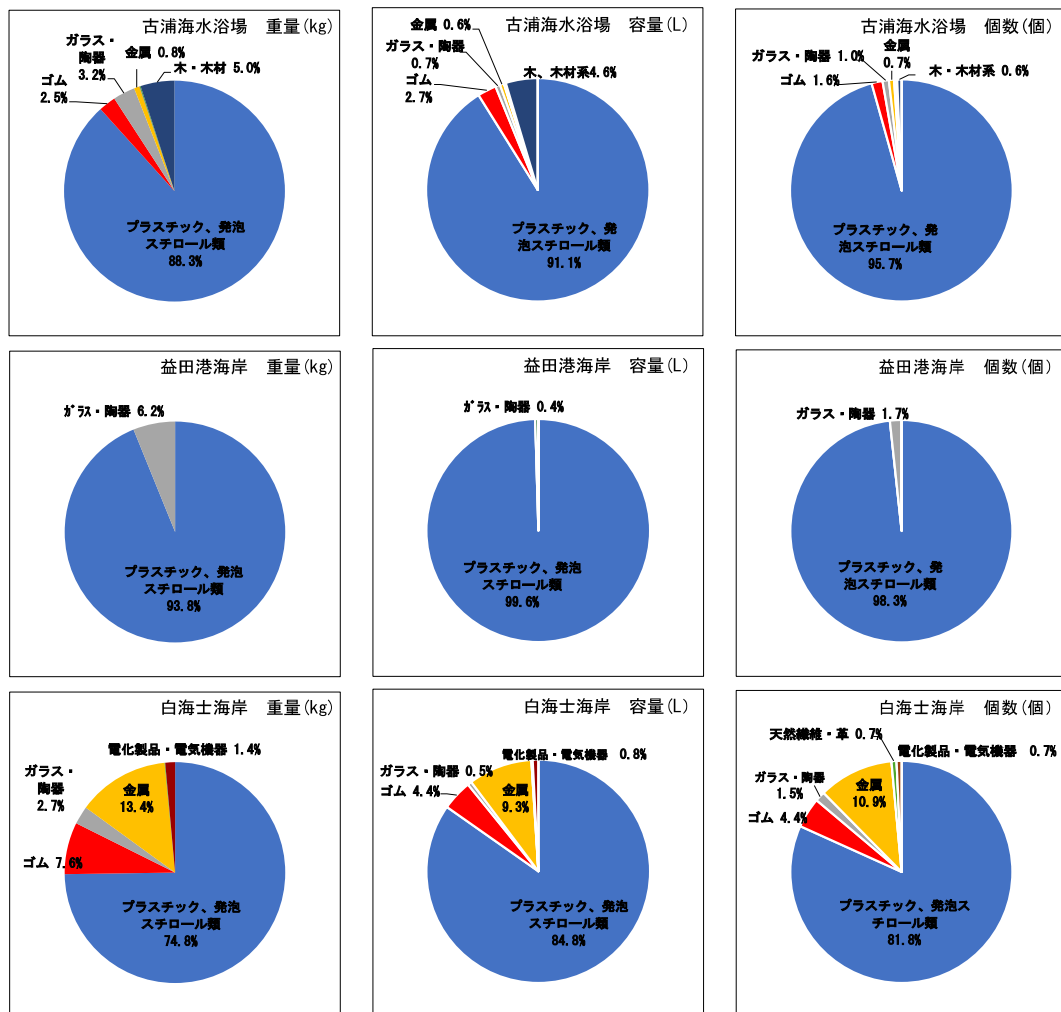


図 4.1-2 人工物の大分類別組成比

### (3) 品目別組成比

本調査における漂着ごみを品目ごとに集計し、人工物のうち上位3位を整理した結果は、表 4.1-6 に示すとおりである。

重量は、益田港海岸及び白海士海岸で、ロープ、ひも（漁具）及び飲料用（ペットボトル）<1Lが多かった。また、古浦海水浴場では硬質プラスチックや発泡スチロールの破片が多かった。

容量は、古浦海水浴場では、発泡スチロールの破片、飲料用（ペットボトル）≥1Lや飲料用（ペットボトル）<1Lが多かった。益田港海岸では、ロープ、ひも（漁具）、発泡スチロールの破片や飲料用（ペットボトル）<1Lが多かった。白海士海岸では、ロープ、ひも（漁具）、発泡スチロールの破片やプラスチックの浮子が多かった。

個数は、古浦海水浴場では、ロープ、ひも（漁具）及びプラスチックのボトルのキャップ、ふたが多かった。益田港海岸では、プラスチックのボトルのキャップ、ふたや食品の容器包装類が多かった。白海士海岸では、飲料用（ペットボトル）<1L、プラスチックの浮子及びロープ、ひも（漁具）が多かった。

表 4.1-6 品目別組成比

順位	地点		重量		順位	令和6年度		容量	
	古浦海水浴場		kg	割合		地点：古浦海水浴場		L	割合
1	硬質プラスチック破片		27.945	45.5%	1	発泡スチロールの破片		175.000	32.5%
2	発泡スチロールの破片		5.300	8.6%	2	飲料用（ペットボトル）≥1L		64.000	11.9%
3	飲料用（ペットボトル）<1L		4.275	7.0%	3	飲料用（ペットボトル）<1L		54.000	10.0%
順位	益田港海岸		kg	割合	順位	益田港海岸		L	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		1.082	49.7%	1	ロープ、ひも（漁具）		21.735	61.1%
2	飲料用（ペットボトル）<1L		0.431	19.8%	2	発泡スチロールの破片		4.896	13.8%
3	ガラス、陶器 食品容器		0.134	6.2%	3	飲料用（ペットボトル）<1L		4.500	12.7%
順位	白海士海岸		kg	割合	順位	白海士海岸		L	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		3.317	28.9%	1	ロープ、ひも（漁具）		40.365	48.3%
2	飲料用（ペットボトル）<1L		3.194	27.9%	2	飲料用（ペットボトル）<1L		17.800	21.3%
3	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）		1.029	9.0%	3	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）		4.896	5.9%

順位	令和6年度		個数	
	地点：古浦海水浴場		個	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		256	27.1%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		123	13.0%
3	飲料用（ペットボトル）<1L		108	11.5%
順位	益田港海岸		個	割合
1	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		12	20.3%
2	発泡スチロール 食品容器		10	16.9%
3	プラスチック 食品容器		8	13.6%
順位	白海士海岸		個	割合
1	飲料用（ペットボトル）<1L		37	27.0%
1	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）		37	27.0%
3	ロープ、ひも（漁具）		17	12.4%

※個数については、破片状のものは集計していない。

#### 4.1.3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

本調査におけるプラスチック・発泡スチロールの組成比は、表 4.1-7 及び図 4.1-3 に示すとおりである。

これによれば、重量及び容量は、益田港海岸及び白海士海岸では海域由来が多く、古浦海水浴場では容器包装が多かった。個数は古浦海水浴場及び益田港海岸では容器包装が多く、白海士海岸では海域由来が多かった。なお、その他は主に破片類であり、個数は計測していない。

表 4.1-7 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	13.020	198.167	449	0.63	6.54	40	3.629	20.460	52
製品	0.610	12.453	83	0.02	0.10	8	0.100	0.928	4
海域由来	7.384	97.067	370	1.26	23.72	10	4.437	45.768	56
その他	33.294	182.856	0	0.14	5.06	0	0.413	3.758	0
合計	54.308	490.543	902	1.91	30.36	58	8.166	67.156	112

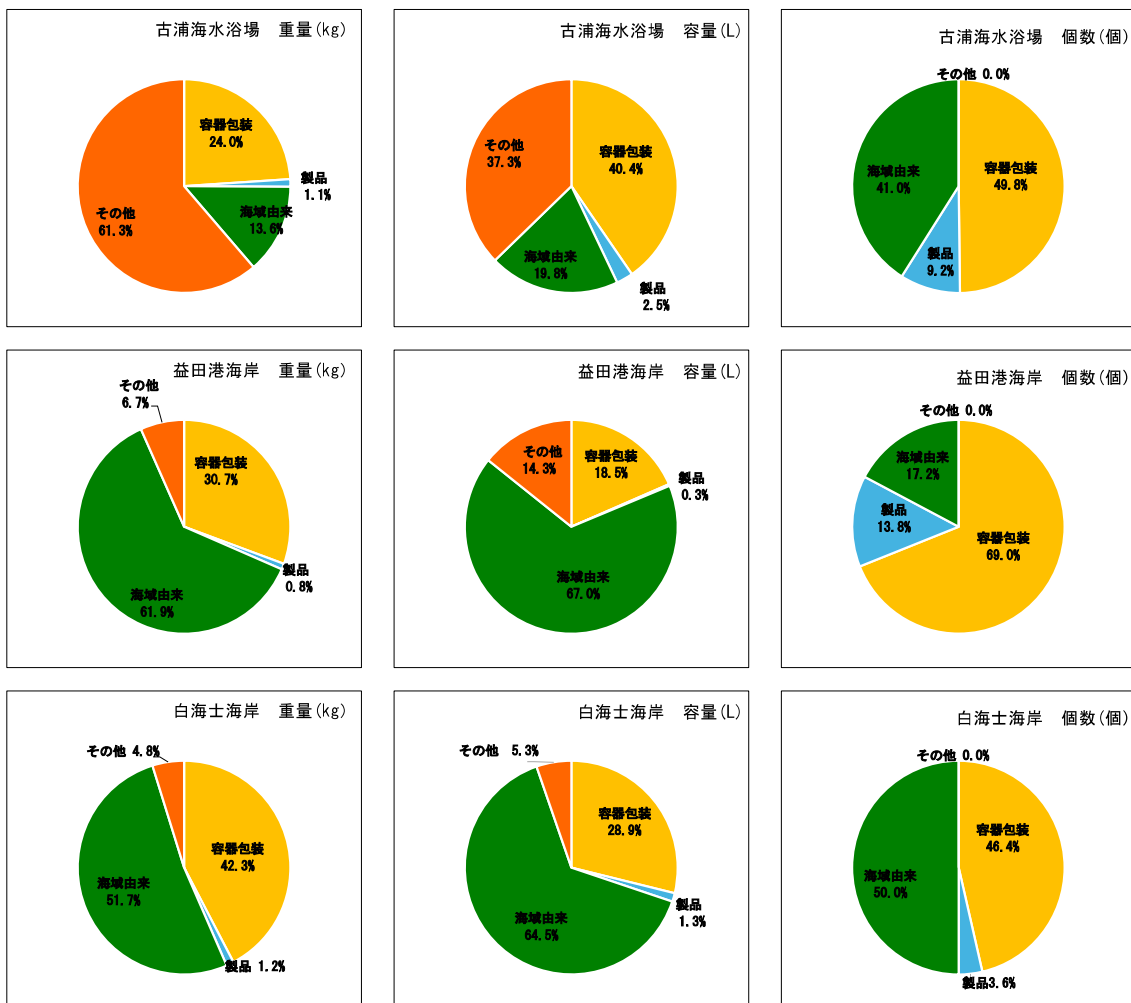


図 4.1-3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比



#### 4.1.4 表記言語別の漂着ごみの組成比

本調査における表記言語別の漂着ごみの組成比は、表 4.1-8 に示すとおりである。これによれば、不明なものを除外すると、全調査地点で外国産の「ペットボトル」、「ペットボトルのキャップ」及び「漁業用の浮子」が多かった。

表 4.1-8 表記言語別ごみの個数及び割合

地点	個数	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
		個	割合	個	割合	個	割合
古浦海水浴場	日本	15	10.2%	8	6.5%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	21	14.3%	16	13.0%	5	16.1%
	韓国（ハングル）	14	9.5%	20	16.3%	1	3.2%
	ロシア（ロシア語）	5	3.4%	9	7.3%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）	92	62.6%	70	56.9%	25	80.6%
合計	147	100.0%	123	100.0%	31	100.0%	
益田港海岸	日本	5	3.4%	11	91.7%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	1	0.7%		0.0%		0.0%
	韓国（ハングル）	1	0.7%	1	8.3%		0.0%
	ロシア（ロシア語）		0.0%		0.0%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）		0.0%		0.0%	2	100.0%
合計	7	100.0%	12	100.0%	2	100.0%	
白海士海岸	日本	5	13.5%	1	14.3%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	14	37.8%	2	28.6%	24	64.9%
	韓国（ハングル）	1	2.7%		0.0%		0.0%
	ロシア（ロシア語）		0.0%		0.0%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）	17	45.9%	4	57.1%	13	35.1%
合計	37	100.0%	7	100.0%	37	100.0%	

## 4.2 経年変化

### 4.2.1 漂着ごみの組成比

#### (1) 人工物と自然物の組成比の経年変化

人工物と自然物の組成比の経年変化は、表 4.2-1 及び図 4.2-1 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して本年度の漂着ごみは、重量で、約 78%、容量で約 84%、個数で約 27%となっており、減少していた。これは、本年度に日本海を通過する台風が無かったことに加え、全国的に大きな出水イベントが無く、例年に比較して雨が少なかったためと思われる。これらの理由により、自然物の流木、灌木及び人工物の木材などの漂着が少なかったことに加え、漁業用の大型フロート（プラスチックフロート及び発泡スチロール製フロート）や大型浮子（プラスチックブイ及び発泡スチロール製ブイ）が無かった。また、食品包装や漁業用ロープ類も大幅に減少していた。

表 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
人工物	404.0	82.4	61.5	8,251	603	538	4,605	3,515	943
自然物	235.0	38.0	32.6	2,190	206	140	89	1	0
合計	639.0	120.4	94.1	10,441	810	678	4,694	3,516	943

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
人工物	63.2%	68.4%	65.3%	79.0%	74.5%	79.4%	98.1%	100.0%	100.0%
自然物	36.8%	31.6%	34.7%	21.0%	25.5%	20.6%	1.9%	0.0%	0.0%

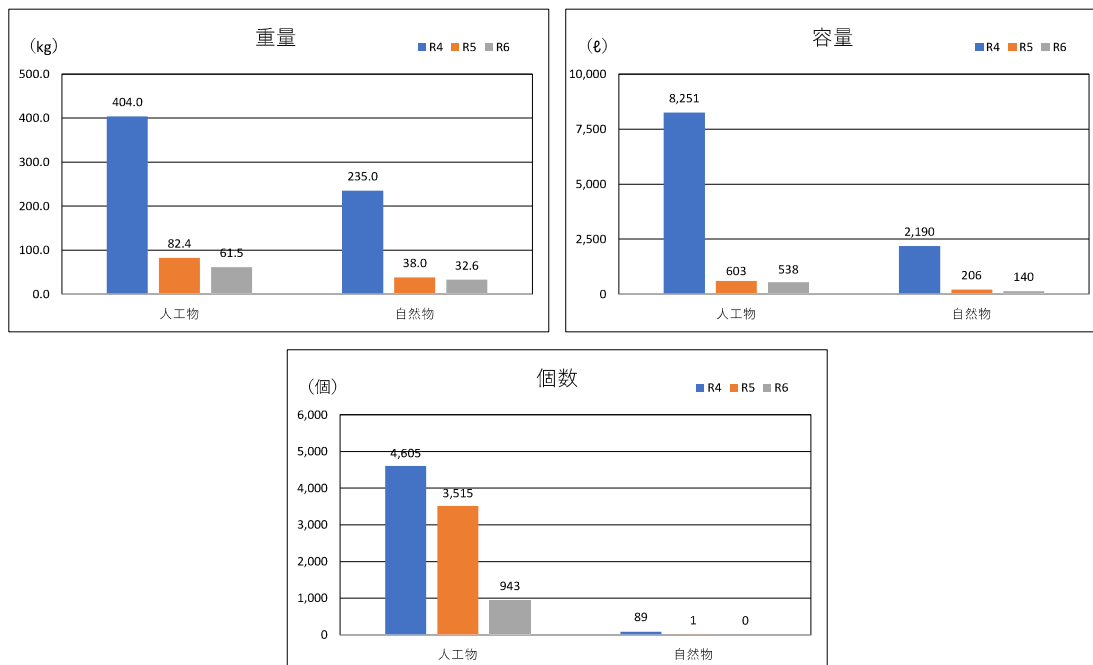


図 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

(2) 品目別組成比の経年変化

人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-2 に示すとおりである。

これによれば、昨年度と比較して重量及び容量では、昨年度まで見られた木材が見られなかったことに加えロープ、ひも（漁具）が大幅に減少していた。個数では、食品の容器包装やロープ、ひも（漁具）などが大幅に減少していた。

表 4.2-2 品目別組成比の経年変化

地点：古浦海水浴場				地点：古浦海水浴場			
順位	令和6年度		割合	順位	令和6年度		割合
	kg				L		
1	硬質プラスチック破片	27.945	45.5%	1	発泡スチロールの破片	175.000	32.5%
2	発泡スチロールの破片	5.300	8.6%	2	飲料用（ペットボトル） $\geq 1L$	64.000	11.9%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1L$	4.275	7.0%	3	飲料用（ペットボトル） $< 1L$	54.000	10.0%
令和5年度				令和5年度			
順位	kg		割合	順位	L		割合
1	ロープ、ひも（漁具）	42.750	51.9%	1	発泡スチロールの破片	180.000	29.8%
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）	17.350	21.1%	2	ロープ、ひも（漁具）	140.000	23.2%
3	発泡スチロールの破片	4.750	5.8%	3	食品の容器包装	62.100	10.3%
令和4年度				令和4年度			
順位	kg		割合	順位	L		割合
1	木材（物流用パレット、木炭等含む）	130.000	32.2%	1	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	2,108.000	25.5%
2	硬質プラスチック破片	57.000	14.2%	2	発泡スチロールの破片	1,080.000	13.1%
3	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	51.000	12.7%	3	硬質プラスチック破片	1,036.000	12.6%

地点：古浦海水浴場			
順位	令和6年度		割合
	個		
1	ロープ、ひも（漁具）	256	27.1%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた	123	13.0%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1L$	108	11.5%
令和5年度			
順位	個		割合
1	食品の容器包装	1,263	38.1%
2	ロープ、ひも（漁具）	1,185	35.7%
3	ボトルのキャップ、ふた	276	8.3%
令和4年度			
順位	個		割合
1	ボトルのキャップ、ふた	1,037	22.5%
1	飲料用（ペットボトル） $< 1L$	539	11.7%
3	ウレタン	288	6.3%

### (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化

人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-3 及び図 4.2-2 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量では、プラスチック及び木（木材等）が減少していた。容量では、プラスチックが減少していた。個数では、プラスチック及び発泡スチロールが大幅に減少していた。

表 4.2-3 人工物の大分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
プラスチック	173	58	48	3,844	368	308	3,965	3,387	886
発泡スチロール	81	5	6	3,359	190	183	229	79	16
ゴム	13	0	2	163	3	15	145	10	15
ガラス、陶器	5	1	2	19	4	4	28	7	9
金属	1	0	0	24	3	3	48	13	7
紙、段ボール	1	0	0	22	4	0	32	7	1
天然繊維	0	0	0	0	0	1	0	1	3
木（木材等）	130	17	3	821	31	25	158	11	6
電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	404	82	61	8,252	603	538	4,605	3,515	943

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
プラスチック	42.8%	70.8%	78.7%	46.6%	61.0%	57.2%	86.1%	96.4%	94.0%
発泡スチロール	20.0%	6.0%	9.7%	40.7%	31.5%	33.9%	5.0%	2.2%	1.7%
ゴム	3.2%	0.5%	2.5%	2.0%	0.5%	2.7%	3.1%	0.3%	1.6%
ガラス、陶器	1.2%	0.7%	3.2%	0.2%	0.7%	0.7%	0.6%	0.2%	1.0%
金属	0.2%	0.6%	0.8%	0.3%	0.5%	0.6%	1.0%	0.4%	0.7%
紙、段ボール	0.2%	0.3%	0.1%	0.3%	0.6%	0.0%	0.7%	0.2%	0.1%
天然繊維	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%
木（木材等）	32.2%	21.1%	5.0%	9.9%	5.1%	4.6%	3.4%	0.3%	0.6%
電化製品、電子機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

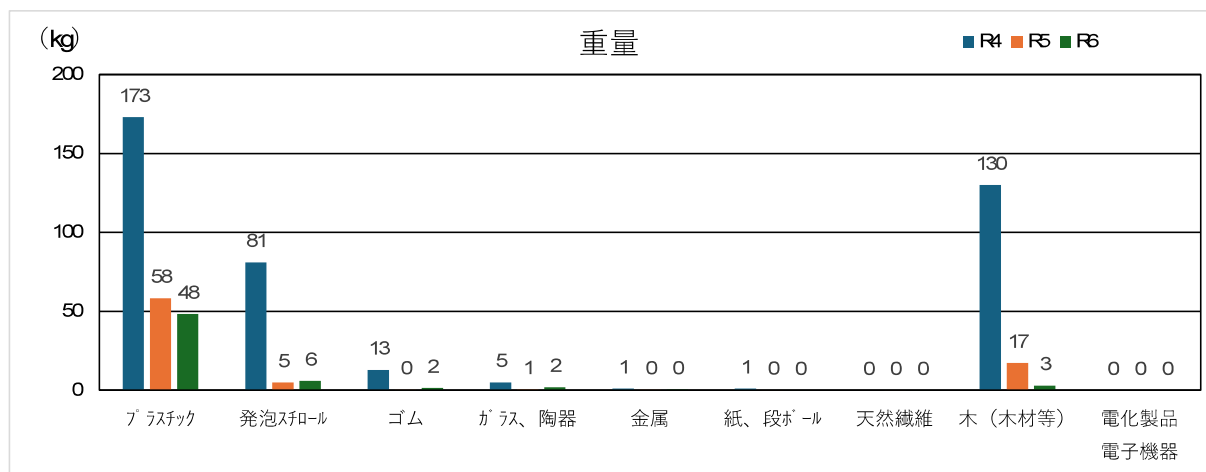


図 4.2-2 (1) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (重量)

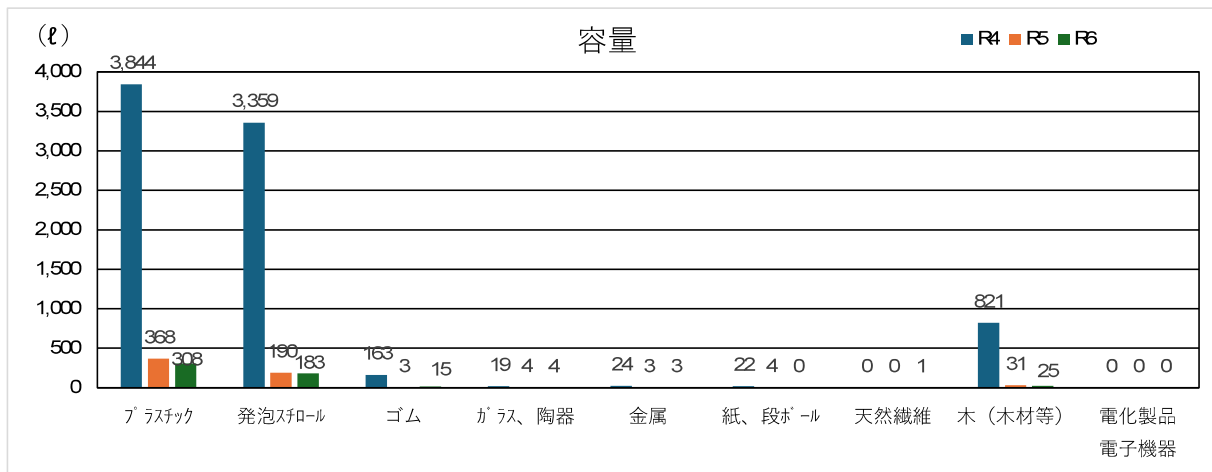


図 4.2-2 (2) 人工物の大分類別組成比の経年変化（容量）

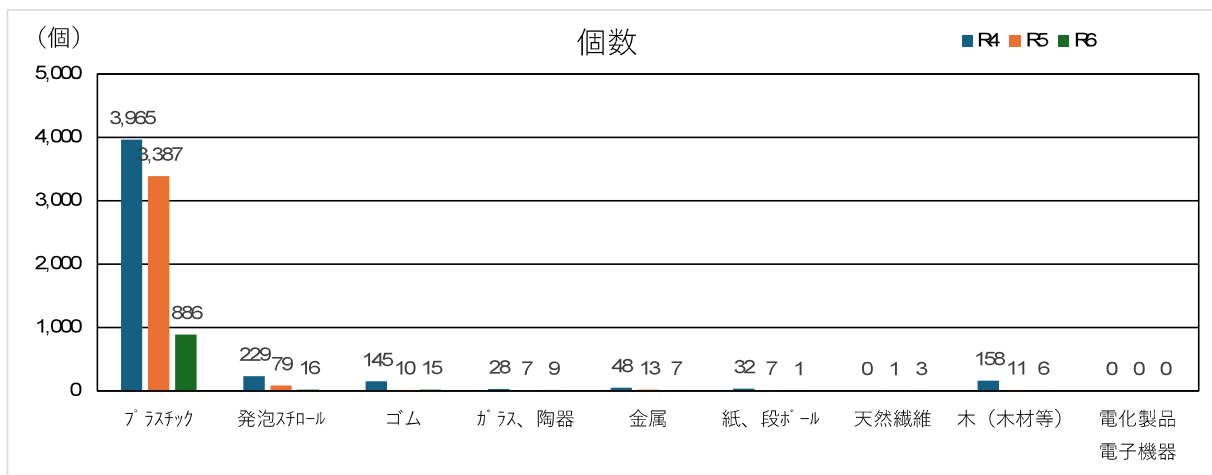


図 4.2-2 (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化（個数）

#### 4.2.2 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化は、表 4.2-4 及び図 4.2-3 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量は、海域由来が大幅に減少し、容器包装及びその他が増加していた。容量では容器包装が多少増加していたが、製品、海域由来及びその他は減少していた。個数では、製品、容器包装及び海域由来のものが減少していた。

表 4.2-4 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
製品	15	1	1	319	24	12	634	324	83
容器包装	53	8	13	1,799	140	198	2,391	1,832	449
海域由来	93	46	7	2,771	164	97	881	1,310	370
その他	93	9	33	2,314	231	183	288	0	0
合計	254	63	54	7,203	558	491	4,194	3,466	902

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
製品	5.9%	1.3%	1.1%	4.4%	4.3%	2.5%	15.1%	9.3%	9.2%
容器包装	20.9%	12.1%	24.0%	25.0%	25.0%	40.4%	57.0%	52.9%	49.8%
海域由来	36.6%	72.2%	13.6%	38.5%	29.3%	19.8%	21.0%	37.8%	41.0%
その他	36.6%	14.4%	61.3%	32.1%	41.3%	37.3%	6.9%	0.0%	0.0%

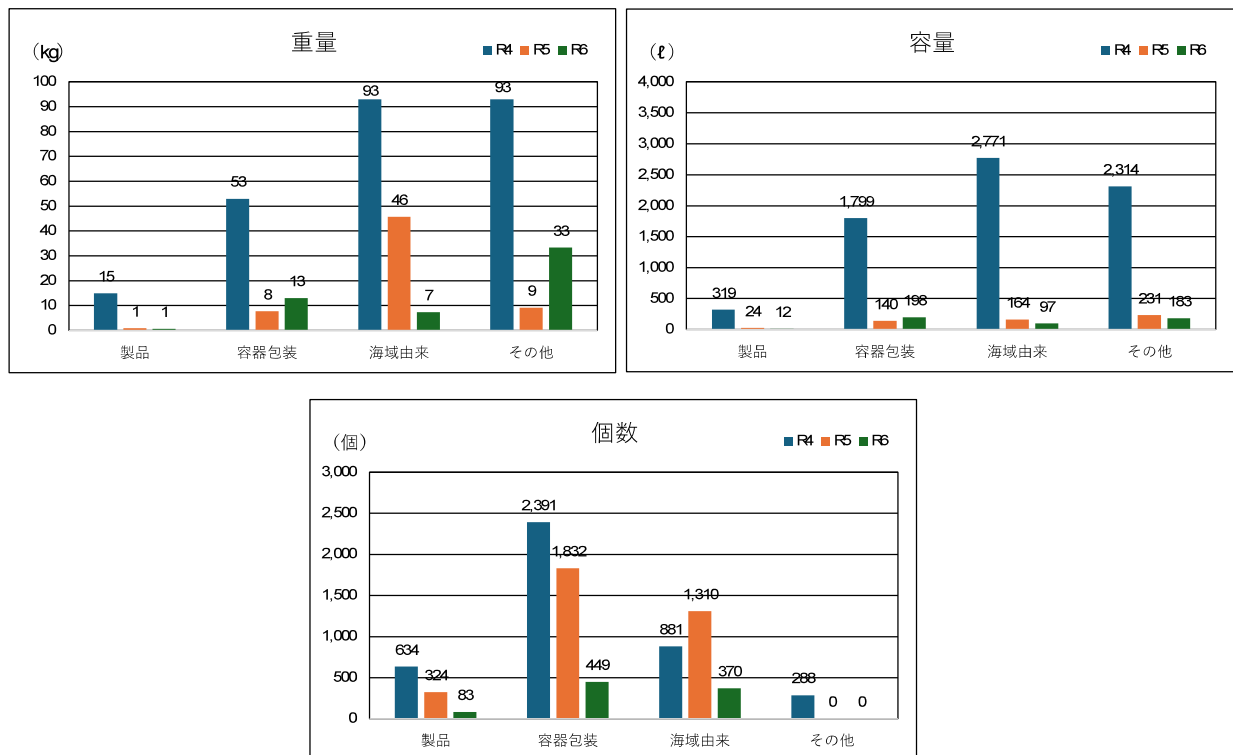


図 4.2-3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

#### 4.2.3 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化は、表 4.2-5 及び図 4.2-4 に示すとおりである。これによれば、本年度の漁業用の浮子以外では不明が最も多いが、判別出来るものでは、中国・台湾からの漂着物が多い傾向にあった。

表 4.2-5 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

個数	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
日本	16	3	15	46	8	8	0	0	0
中国・台湾（漢字）	40	10	21	119	29	16	51	26	5
韓国（ハングル）	19	1	14	81	55	20	29	20	1
ロシア（ロシア語）	0	0	5	0	0	9	0	0	0
英語	0	0	0	81	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0
不明（文字読取れず）	612	47	92	710	184	70	262	21	25
合計	688	61	147	1,037	276	123	342	67	31

割合	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
日本	2.3%	4.9%	10.2%	4.4%	2.9%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
中国・台湾（漢字）	5.8%	16.4%	14.3%	11.5%	10.5%	13.0%	14.9%	38.8%	16.1%
韓国（ハングル）	2.8%	1.6%	9.5%	7.8%	19.9%	16.3%	8.5%	29.9%	3.2%
ロシア（ロシア語）	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%
英語	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明（文字読取れず）	89.0%	77.0%	62.6%	68.5%	66.7%	56.9%	76.6%	31.3%	80.6%

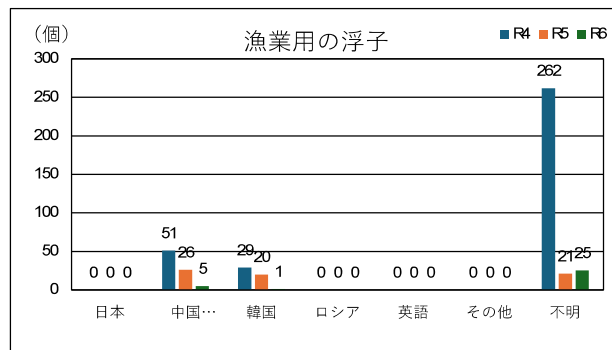
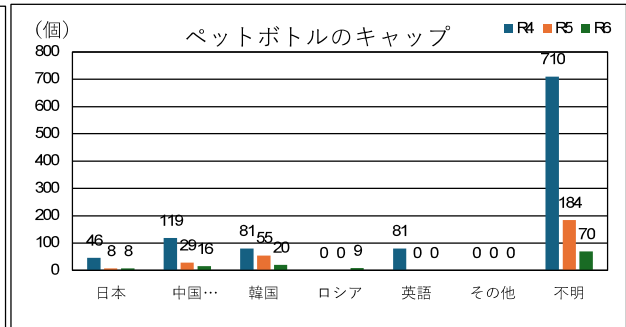
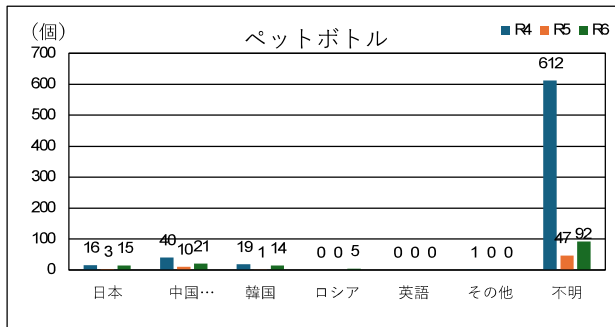


図 4.2-4 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化